



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月8日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL http://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 072-224-5115
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	22,404	4.8	1,199	23.0	1,133	28.6	781	120.0
2018年3月期第1四半期	21,379	5.4	975	54.1	881	410.1	355	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,309百万円 (287.0%) 2018年3月期第1四半期 338百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	8.21	—
2018年3月期第1四半期	3.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	107,284	57,095	53.2	598.75
2018年3月期	106,652	56,720	53.1	595.40

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 57,038百万円 2018年3月期 56,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	48,940	5.8	5,000	17.1	4,730	16.1	3,000	22.1	31.49
通期	101,400	5.7	11,550	9.6	11,000	7.1	6,320	△24.9	66.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	95,452,914株	2018年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	189,773株	2018年3月期	189,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	95,263,301株	2018年3月期1Q	95,265,939株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業活動及び企業収益の堅調な回復を背景に、雇用・所得環境が改善し、個人消費の緩やかな持ち直しが継続いたしました。また、米国経済におきましては、緩やかな成長が見られるものの、政府による保護主義的な通商政策により緊張感が高まり、貿易摩擦や地政学的リスク等先行きの不透明感が増してきております。

このような状況の中、当社グループにおいては、日本国内にて「1,000円キャッシュバックイベント」、「小中学生無料キャンペーン」の継続実施や、アルコール飲料を100円で販売する「ラウンドワンDE乾杯!」を全店舗（一部店舗除く）において新規実施いたしました。

米国においては遊び放題食べ放題のパーティープラン「All Inclusive Party」の新規実施に加え、「KIDS BOGO」や\$1.99ビール・\$0.99アイスの販売も継続して実施する等、将来のファン層の開拓や、幅広いファン層の獲得に努めました。

また、営業基盤を拡大すべく、2018年6月にメイン店（メイン州）、コロナド店（ニューメキシコ州）の2店舗を出店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高22,404百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益1,199百万円（同23.0%増）、経常利益1,133百万円（同28.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益781百万円（同120.0%増）となりました。

また、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で業績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（日本）

ボウリング・アミューズメント（メダルゲーム）・カラオケにおいて、「小中学生無料キャンペーン」の継続実施や、カラオケやフードカウンターで生ビール・ハイボール等のアルコール飲料を100円で販売する「ラウンドワンDE乾杯!」を実施いたしました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比1.5%減、アミューズメントは前年同1.4%増、カラオケは前年同1.3%増、スポッチャは前年同2.7%増となりました。

（米国）

営業基盤を拡大すべく、新たに2店舗を出店いたしました。また、遊び放題食べ放題のパーティープラン「All Inclusive Party」の販売開始、大人1名につきキッズクラブメンバー1名がボウリング1ゲーム無料となる「KIDS BOGO」や、\$1.99ビール・\$0.99アイスの販売を引き続き実施いたしました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比17.6%増、アミューズメントは前年同40.9%増、カラオケは前年同27.5%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ631百万円増加の107,284百万円となりました。この要因は、現金及び預金が1,863百万円減少、前払費用が328百万円増加したこと等による流動資産の減少1,385百万円と、建設仮勘定が774百万円増加、建物及び構築物（純額）が508百万円増加、リース資産（純額）が397百万円増加、什器備品（純額）が273百万円増加したこと等による固定資産の増加2,017百万円によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ256百万円増加の50,189百万円となりました。この要因は、短期借入金が2,975百万円増加、未払法人税等が1,393百万円減少、買掛金が732百万円減少したこと等による流動負債の増加1,056百万円、長期借入金が588百万円減少、リース債務が620百万円減少、長期預り金が398百万円増加したこと等による固定負債の減少800百万円によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ374百万円増加の57,095百万円となりました。この要因は、為替換算調整勘定が527百万円増加、剰余金の配当952百万円による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益781百万円の計上により利益剰余金が170百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.2%（前連結会計年度末は53.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,439	21,576
売掛金	932	542
商品	393	405
貯蔵品	1,470	1,780
その他	2,012	2,558
流動資産合計	28,249	26,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,446	74,301
減価償却累計額	△37,186	△36,532
建物及び構築物(純額)	37,260	37,769
土地	5,736	5,736
リース資産	27,221	27,404
減価償却累計額	△13,533	△13,319
リース資産(純額)	13,687	14,085
その他	20,665	23,441
減価償却累計額	△14,991	△16,435
その他(純額)	5,674	7,005
有形固定資産合計	62,358	64,596
無形固定資産		
投資その他の資産	213	407
繰延税金資産	5,843	5,688
差入保証金	9,758	9,510
その他	228	216
投資その他の資産合計	15,830	15,416
固定資産合計	78,403	80,420
資産合計	106,652	107,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	960	228
短期借入金	920	3,895
1年内償還予定の社債	935	935
1年内返済予定の長期借入金	4,450	3,942
リース債務	8,250	8,982
未払法人税等	1,628	234
その他	7,645	7,630
流動負債合計	24,791	25,848
固定負債		
長期借入金	7,408	6,819
役員退職慰労引当金	271	—
リース債務	7,276	6,656
資産除去債務	6,216	6,154
その他	3,967	4,709
固定負債合計	25,141	24,340
負債合計	49,932	50,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	9,513	9,343
自己株式	△334	△335
株主資本合計	56,838	56,667
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	△17	509
その他の包括利益累計額合計	△156	371
新株予約権	37	56
純資産合計	56,720	57,095
負債純資産合計	106,652	107,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	21,379	22,404
売上原価	19,848	20,542
売上総利益	1,531	1,861
販売費及び一般管理費	556	662
営業利益	975	1,199
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	5
販売協力金収入	21	22
その他	37	37
営業外収益合計	63	65
営業外費用		
支払利息	143	113
その他	13	18
営業外費用合計	157	131
経常利益	881	1,133
特別損失		
固定資産売却損	—	75
固定資産除却損	64	36
特別損失合計	64	111
税金等調整前四半期純利益	817	1,021
法人税、住民税及び事業税	82	61
法人税等調整額	379	177
法人税等合計	461	239
四半期純利益	355	781
親会社株主に帰属する四半期純利益	355	781

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	355	781
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△17	527
その他の包括利益合計	△17	527
四半期包括利益	338	1,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338	1,309
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2018年6月23日開催の第38期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、「役員退職慰労引当金」に計上しておりました276百万円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

当社グループは総合アミューズメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結財務諸表計上金額
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	19,131	3,272	22,404	22,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	19,131	3,272	22,404	22,404
セグメント利益	1,043	89	1,133	1,133

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、総合アミューズメント事業の単一セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間以後、米国における出店の加速や、店舗の管理・サポート体制の強化により、事業セグメントの収益基盤が確立いたしました。これに伴い、セグメントの区分方法の見直しを行った結果、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを、従来の単一セグメントから「日本」、「米国」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成すると次のとおりになります。

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結財務諸表計上金額
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	18,988	2,391	21,379	21,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,988	2,391	21,379	21,379
セグメント利益	751	129	881	881

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

3. その他

(報告セグメントごとの売上高、利益の推移)

(単位：百万円)

	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期	
	日本	米国	日本	米国	日本	米国	日本	米国	日本	米国
売上										
外部顧客への売上高	82,998	1,273	81,925	1,979	78,348	5,168	80,525	7,250	84,331	11,579
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,831	△12	6,278	△127	5,159	243	5,416	441	9,335	944

(注) セグメント利益は、各連結累計期間の連結損益計算書の経常利益と一致しております。